

# 第1章 整備計画の背景と目的等

## 第1節 計画策定の背景

重要文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」（以下、「本重要文化的景観」という。）がある豊後大野市緒方町は、大分県南西部に位置する豊後大野市（以下、「本市」という。）の南西部に位置する。

その緒方町の北部に位置する本重要文化的景観の選定範囲には、東西を横断するように、祖母山を源流とする大野川の支流である緒方川が流れ、さらにその緒方川には、川入川、石用川、大久保川（黒土甲川）、軸丸川、徳田川、清田川及び知田川が支流として流れ込んでいる。こうしたことから、支流も含め、本区域を緒方川流域と総称する。この流域に形成された段丘面は、周りを丘陵に囲まれており、盆地状の形状をなしている。豊肥地域と呼ばれる豊後大野市、竹田市の中で最も広い平地であり、地元ではこの平地を誇りを持って「緒方平野」とも呼んでいるが、本計画では地形的な観点から緒方川流域の段丘面を「緒方盆地」と呼称する。ここでは、この地を治める為政者の命により、古代から井路網の開削が進められ、江戸期には豊後国岡藩の優良な穀倉地帯であり、藩主による「御覧田植」がしばしば行われるなど、藩政に欠かせない重要な場所と認識されていた。

また、緒方川流域を取り囲む丘陵地帯では、明治期以降の長距離水路の開削により、新たに棚田が形成され、中でも大正3年（1914）以降、富士緒井路通水により棚田が拡大した軸丸地区は、平成11年（1999）に日本の棚田百選に選定されており、選定範囲内を代表する棚田景観区域として、「軸丸棚田」と呼称する。

このように、古代から現在まで稲作が営まれている緒方川流域は、現在でも市内最大の水田面積を誇っている。

盆地中央を蛇行する緒方川の侵食により形成された河岸段丘は、丘陵地帯にあつて稀有なまとまった平地であるが、川面と大きな高低差がある。そのため緒方盆地では、古くから灌漑用水を得るための努力が行われており、平安末期には緒方三郎惟栄により低位段丘を潤す井路が、近世には岡藩により中位段丘を潤す井路が整備され、藩屈指の稲作地帯となった。近代には、丘陵地上に長距離水路が整備され、高位段丘と丘陵部に棚田が開かれた。

このように、水路開削により稲作地帯として発展を遂げてきた農村の変遷を伝える貴重な景観であることが評価され、令和5年（2023）3月20日に重要文化的景観に選定された。

本市では、平成27年度から文化的景観の調査研究を開始し、令和3年（2021）3月に、『大分県豊後大野市文化的景観保護推進事業調査報告書「緒方川と緒方盆地の農村景観～水と石が織りなす暮らしの風景～」』（以下、「調査報告書」という。）としてとりまとめ、緒方川流域における文化的景観の特性や本質的な価値を明らかにした。

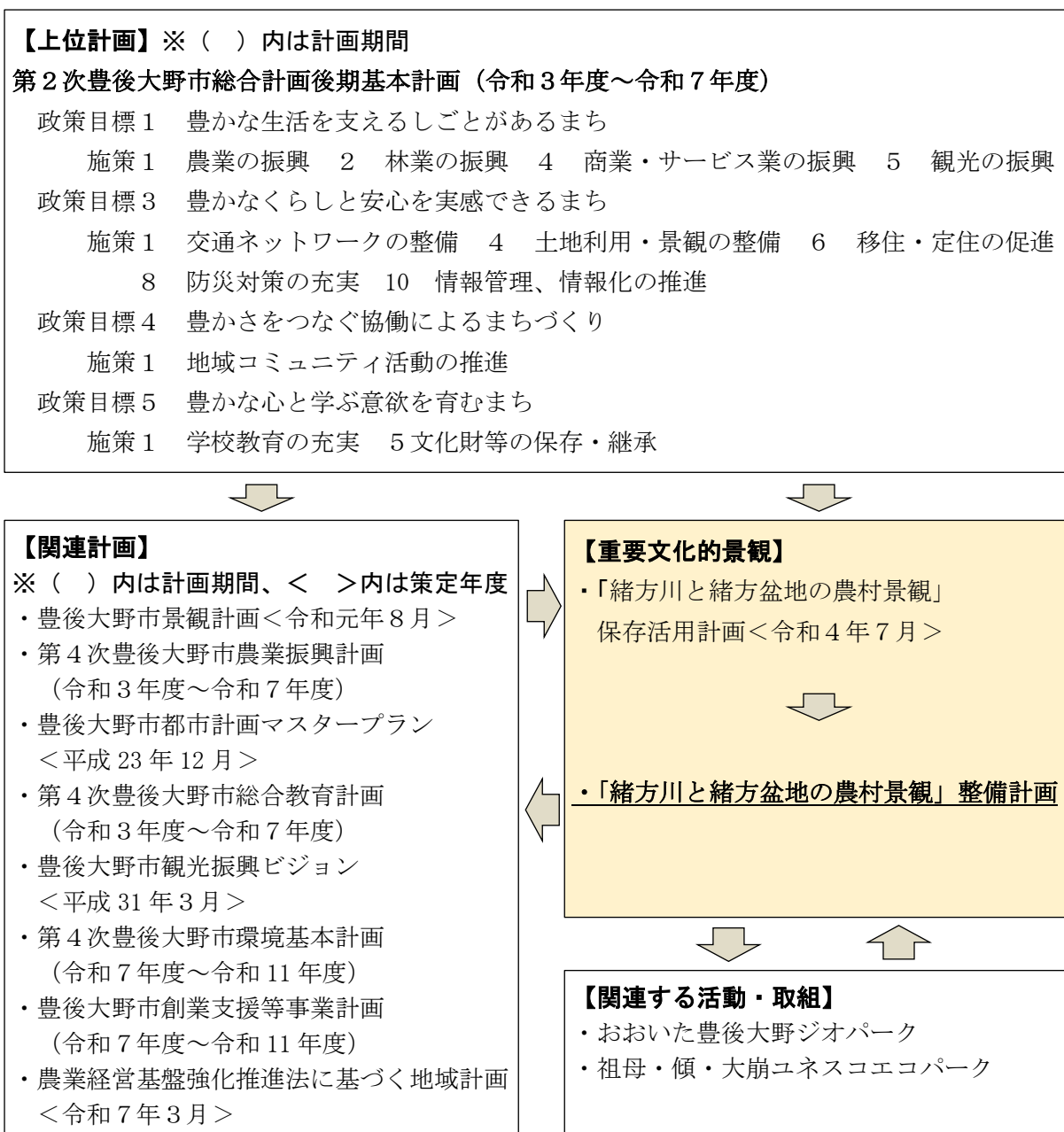
そして、令和4年（2022）7月に、『緒方川と緒方盆地の農村景観保存活用計画』以下、「保存活用計画」という。）を策定した。保存活用計画では、文化的景観の本質的な価値及び保存活用を図る上での基本方針と計画を定めている。



### 3 上位計画・関連計画

本計画は、以下の上位計画や関連計画と連携及び整合を図りながら、保存活用計画に則して策定するものである。特に、令和元年8月に策定した「豊後大野市景観計画（以下、「景観計画」という。）」とは関連づけた内容とする。

なお、本市における最上位計画となる「第3次豊後大野市総合計画」が令和8年度に策定予定であるため、本計画の内容を反映させることとする。



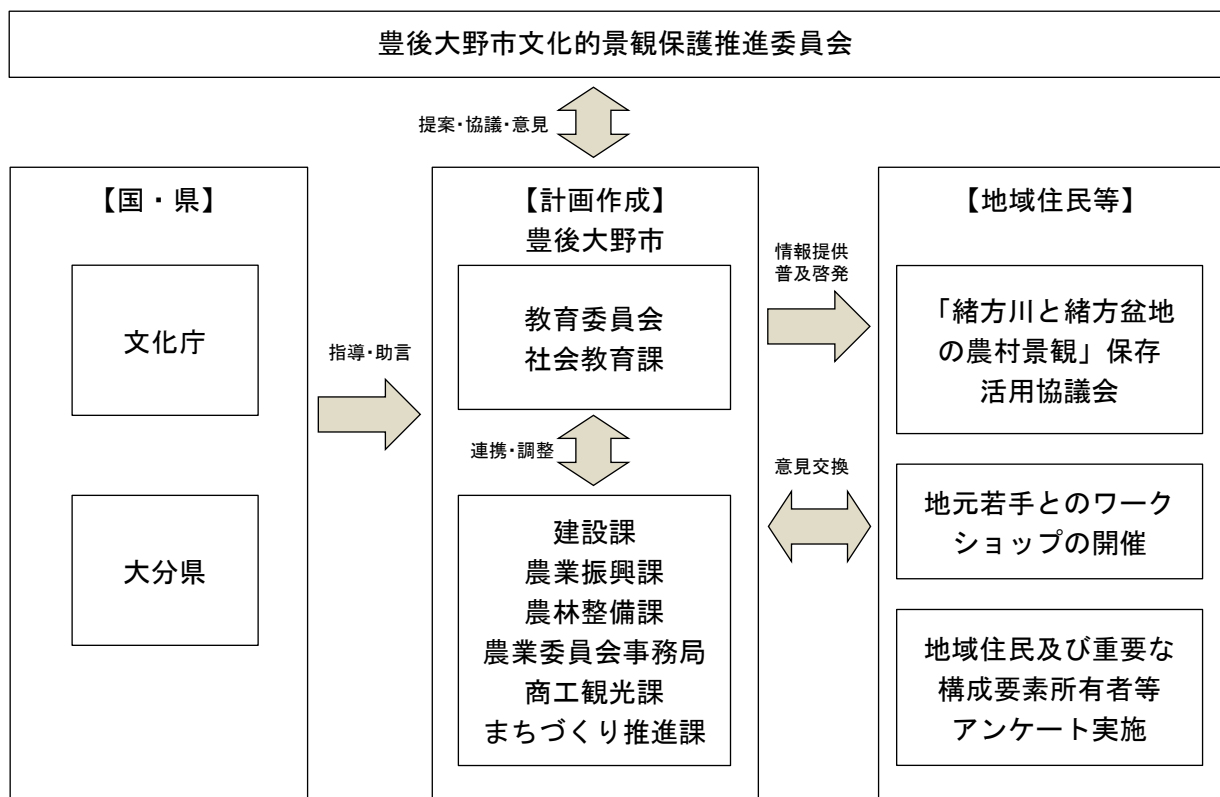
## 4 検討体制とプロセス

本計画は、豊後大野市文化的景観保護推進委員会（以下、「保護推進委員会」という。）において協議を重ね、国、県からの指導、助言を踏まえ策定した。

また、自治会の代表者や重要な構成要素の所有者・管理者等で構成される「緒方川と緒方盆地の農村景観」保存活用協議会との意見交換結果、地元で生活する青年層や農業従事者等とのワークショップでの意見交換結果、地域住民及び重要な構成要素の所有者・管理者を対象としたアンケート結果等を計画に反映させた。

計画策定のプロセスは、以下のとおりである。

### (1) 検討体制



(2) 策定のプロセス

表 1-1 整備計画策定のプロセス

期日	会議等	主な協議内容	
令和5年度	7月7日 7月8日	令和5年度第1回豊後大野市文化的景観保護推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度豊後大野市文化的景観保護推進事業の取組について</li> <li>「緒方川と緒方盆地の農村景観」整備計画の策定について</li> <li>サイン設置箇所の現地確認</li> </ul>
	12月12日	令和5年度第2回豊後大野市文化的景観保護推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒方川と緒方盆地の農村景観」整備計画の策定について</li> </ul>
	2月7日	令和5年度第1回「緒方川と緒方盆地の農村景観」保存活用協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度豊後大野市文化的景観保護推進事業の取組について</li> <li>地域及び団体等における文化的景観の説明について</li> <li>「緒方川と緒方盆地の農村景観」重要な構成要素の現状把握について</li> </ul>
	3月15日	令和5年度第3回豊後大野市文化的景観保護推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒方川と緒方盆地の農村景観」整備計画の策定について</li> <li>サイン計画(案)について</li> </ul>
令和6年度	8月26日	令和6年度第1回豊後大野市文化的景観保護推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備計画の策定について</li> <li>アンケートの実施について</li> <li>ワークショップの開催について</li> <li>文化的景観案内板等の設置について</li> </ul>
	9月1日～ 11月15日	地域住民アンケートの実施	(主な設問) <ul style="list-style-type: none"> <li>基本属性</li> <li>文化的景観の認知度、関心度</li> <li>景観を良くするための取組</li> <li>農地の所有状況、継続意向 等</li> </ul>
	9月1日～ 11月15日	重要な構成要素の所有者・管理者へのアンケートの実施	(主な設問) <ul style="list-style-type: none"> <li>重要な構成要素の現状の問題点</li> <li>重要な構成要素の早急に対応すべき事項及び将来的に対応が必要な事項</li> <li>重要な構成要素の活用</li> </ul>
	10月26日～ 12月18日	ワークショップの開催(計5回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農村景観の魅力</li> <li>生業、地域文化の現状と課題</li> <li>現地確認</li> <li>コンセプトのまとめと取組の優先度 等</li> </ul>
	12月15日 12月16日	令和6年度第2回豊後大野市文化的景観保護推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒方川と緒方盆地の農村景観」整備計画の策定について</li> <li>サインの現地確認</li> </ul>
	2月12日	令和6年度第3回豊後大野市文化的景観保護推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒方川と緒方盆地の農村景観」整備計画の策定について</li> </ul>
	3月13日	令和6年度第4回豊後大野市文化的景観保護推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒方川と緒方盆地の農村景観」整備計画の策定について</li> </ul>